

## 週間国際経済 2022 (4) No.297 02/02~02/12

- 02/02・欧州安保「米欧が提案無視」 プーチン氏、回答に不満 協議は継続の意向
- ・ユーロ圏失業率、過去最低 12月7.0% 賃上げ波及が焦点
  - ・米連邦債務、初の30兆ドルに
- 02/03・株式発行、世界で6割減 1月上場・増資延期相次ぐ 設備投資鈍化に懸念
- ・ユーロ圏物価5.1%上昇 1月伸び最大 緩和縮小の圧力に
  - ・「コロナ貯蓄」米で急減 政府支援で拡大→低所得層取り崩し 個人消費に影響
  - ・米「ロシアの侵略抑止」 東欧に3000人増派決定 ウクライナ侵攻備え
  - ・米メタ、純利益8%減 10~12月 初の利用者減 成長鈍化、株一時23%安
- 02/04・英中銀、追加利上げ(3日) 年0.5%に 量的引締め来月着手
- ・欧州に緩和修正の圧力 ガス高騰 インフレ長期化懸念 <1>
  - ・NY原油、一時90ドル台に 7年4ヶ月ぶり 需給逼迫観測強まる <2>
- 02/05・中ロ首脳、相互の立場支持 台湾・ウクライナ 米欧と対決 <3>
- 「民主主義を口実に介入許さず」 中国にガス追加供給 米欧日、試される結束
- ・資源高、市場の不安増幅 世界株の時価総額700兆円減 原油、一時93ドル台
  - ・米就業者、46万人増 1月、市場予測上回る 人手不足は依然深刻
  - ・対中競争法案を可決 米下院 半導体に6兆円補助 国主導でハイテク育成 <4>
  - ・米長期金利上昇、一時1.93% 2年ぶり水準 雇用増、予想上回る
- 金利上昇圧力、日本にも0.25%迫る 日銀、臨時国債購入を準備
- 02/06・米、国主導でハイテク育成 下院、対中競争法案を可決 半導体・供給網に補助金
- ・勢い増す米賃金上昇 1月5.7%増、インフレ長期化も 雇用堅調、利上げ環境整う
- 02/08・米独、対ロ制裁で一致 侵攻なら「ガス管稼働せず」
- ・仏ロ、平和解決で一致 ウクライナ問題「今後数日カギ」
  - ・経常収支、1年半ぶり赤字 昨年12月、原油高など影響
- 02/09・米貿易赤字、昨年初の1兆ドル超 内需堅調、輸入2割増 保護主義傾向強まる
- 02/10・国際商品、1年で5割高 2000年代で最大 供給制約が拍車 世界不安定化要因に
- ・企業物価、1月8.6%上昇 8ヶ月連続5%超上昇 資源高・円安で高水準続く
  - ・米共和党、内紛広がる 上院トップ、トランプ派批判 秋に中間選挙
- 02/11・米消費者物価1月7.5%上昇 約40年ぶり伸び率 <5>
- ・米長期金利上昇2%台 2年半ぶり水準 円安加速、116円台
  - ・日銀、金利抑制策を発動 14日 利回り0.25%で国債購入
- 02/12・日米豪印、対中ロの一角に クワッド外相会合 迫られる「二正面」 <6>
- ・米、台湾侵攻抑止を明記 インド太平洋戦略、政権初 中国に対抗
  - ・米「48時間以内に退避を」 ウクライナ、緊張高まる 米ロ首脳、電話協議へ
  - ・欧州緩和縮小「段階的に」 ラガルドECB総裁、金利上昇けん制

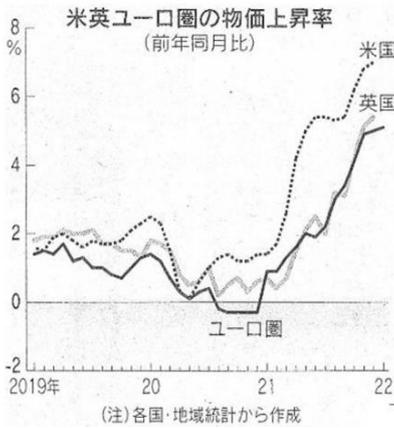
<1>

緩和縮小を急ぐ中銀が目立つ

米国 (FRB)	インフレ抑制へ3月にも利上げ開始。引き締め加速も
ユーロ圏 (ECB)	段階的に緩和縮小へ。市場で年内の利上げ観測が浮上
英国 (BOE)	2会合連続で利上げ。量的引き締めも
豪州	量的緩和の終了を決定
カナダ	3月にも利上げの公算
日本	金融緩和を継続

<2>

WTIは90ドルを突破



<3>

中ロ共同声明のポイント

- 民主主義や人権を口実にした内政干渉に反対
- 核心的利益、国家主権、領土の一体性について相互支援
- ロシアは「一つの中国」の原則を確認、台湾の独立に反対
- NATOの拡大に反対、中国は欧州安保に関するロシアの提案を支持
- 米英豪による安保の枠組み「AUKUS（オーカス）」に懸念
- 福島第1原発の処理水の海洋放出に懸念
- 米国はアジア太平洋・欧州へのミサイル配備計画の放棄を

<4>

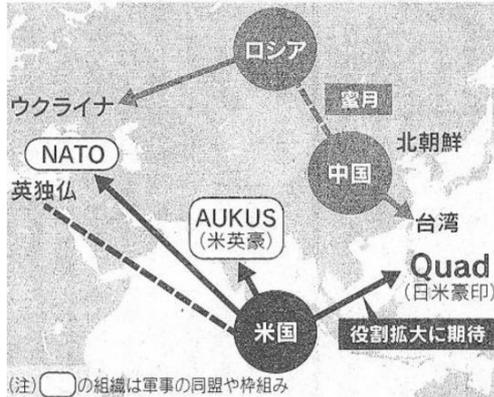
米下院の法案も対中国を意識した

半導体の生産・研究開発に520億ドル
サプライチェーンの強化に450億ドル
先端技術開発を担う新組織に133億ドル
生産拠点を外国に移す対外投資を審査
米上場企業への監査強化
外国からの研究費寄付への監視強化
輸入品を無関税にする条件を厳しく

(注) 米国競争法案。成立時に変更の可能性

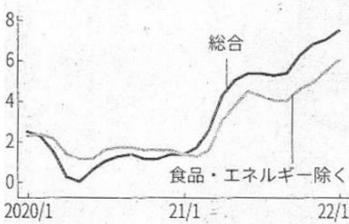
<6>

中ロへの対峙でクアッドが重要に



<5>

急上昇が続いている米物価



(注) 前年同月比、季節調整前

(出所) 米労働省